Ⅲ　事例研究のまとめ

２．地域で子どもを育てる住民の意識について

（６）三世代の交流を通した子どもの育成

【　事例９の特色　】

今市市清原町「清原町三世代交流輪投げ及び手作りボーリング大会」では、ゲームの合間にテーブルを囲み、お菓子を食べながら楽しいふれあいの時間を過ごしている。これは、老人クラブ行事の活性化の一環として、孫と祖父母の世代に親の世代も交流に加わり、全世代にまたがった地域ぐるみの事業を目指し、異世代の交流を通して、地域の子どもたちを温かく育てていこうとするものである。

《事例９》

事業名（市町村）	清原町三世代交流輪投げ及び手作りボーリング大会　（今市市）
事業主体	清原町清寿会（老人クラブ）、清原町育成会

【事業（施設）の概要及び特色】

１．目　的

老人クラブ行事の活性化の一環として、異世代間の交流を目的にしている。特に、孫と祖父母の関係の世代とあわせて、親の世代も交流に加わることで、全世代にまたがった、地域ぐるみ行事を目指している。

２．概要及び特色

老人クラブからの要請に育成会が協力し、老人クラブ単独の行事が育成会との共催行事になった。

地区内のコミュニティセンターに子どもたち、お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんたちが集まり、三世代混合チームを作り「輪投げ」「手作りボーリング」などを楽しんでいる。ゲームの合間には、みんなでテーブルを囲み、お菓子を食べながら楽しいふれあいの時間を過ごしている。順位も決めるので、楽しい中にも真剣に、それでいてたびたび飛び出す珍プレーに大爆笑の連続というような和やかな行事になっている。

３．取り組みによる効果

・この行事を重ねていくうちに、地域の子どもたちと、あいさつをしたり、話をしたりする機会が多くなった。地域内・世代間のつながりでは、効果をあげている。

・子どもたちの元気な笑い声を聞いていると、参加したみんなが元気になる。子どもたちの笑顔によって、大人が生き生きし、地域全体が元気になるような行事になっている。

４．今後の課題

・活動が定着してきているので、さらに多くの参加者を募ったり、近隣地域と合同で開催するなど、活動の拡充に努めたい。

参考《　ボランティア保険への加入について　》

　ボランティアの保険については、現在のところ市町村や市町村教育委員会、学校などで費用を負担する場合や、ボランティアが個人で加入する場合など、その形態はさまざまです。しかし、ボランティア活動中における不測の事態等の発生を考慮すると
ボランティアは保険に加入し、活動することが望ましいといえます。活動するボランティアが保険に未加入の場合は、保険に加入してから活動するとよいでしょう。
　ボランティア保険への加入については、団体を通じて加入する保険や、直接保険業者と契約する保険があります。契約の方法、補償内容、保険金額、保険期間など、それぞれ違いがありますので、内容をよく確認した上で活動内容・条件にあった保険に
加入するようにしてください。
　下記に、ボランティア活動に関する保険についていくつか掲載しましたので参考にしてください。

加入の方法		問い合わせ先
団体を通じて加入する保険		
ボランティア活動保険	社会福祉法人 全国社会福祉協議会	お近くの社会福祉協議会へ （または栃木県社会福祉協議会 TEL０２８－６２２－０５２５）
スポーツ安全保険	財団法人 スポーツ安全協会	スポーツ安全協会栃木県支部へ （栃木県体育協会内） TEL０２８－６２２－７６７７
民間保険業者に直接加入する保険		それぞれの窓口へ

（参考：『学校におけるボランティア等活用実践研究実施報告書』栃木県教育委員会事務局義務教育課　２００２年）